

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	ボランティア論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301 他
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネーター2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
漠然としたボランティアのイメージをいくつかの事例を通じて、具体的なイメージとして理解する。また、ボランティアを考えることで自分と社会の接点を意識できるようにし、社会問題を自身の頭で考えられるようになり、実際の行動につなげられるようにする。そして、ボランティア経験を自分の言葉で発信し、自分のキャリア形成を考えることができる						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出(90%) 授業への取組姿勢(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考 『ボランティア論』, 藺田碩哉 編著, ヘルスシステム研究所 参考 『学生のためのボランティア論』, 岡本榮一・菅井直也・妻鹿ふみ子 編, 社会福祉法人大阪ボランティア協会 参考 『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』, 巡 静一・早瀬 昇 編著, 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
ボランティアがもつ意義を考え、「知ること」「考えること」「行動すること」を意識する						
《履修に当たっての留意点》						
授業中に口頭試問等を行う。テキストを持ってくること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	本科目の授業内容について説明できる	配布資料		予習・復習を行い、疑問点などを調べて授業に臨む
		各コマにおける授業予定	ボランティア論について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動の歴史について説明できる	配布資料		予習・復習を行い、疑問点などを調べて授業に臨む
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動の歴史について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動を始めるための準備について説明できる	配布資料		予習・復習を行い、疑問点などを調べて授業に臨む
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動を始めるために			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉協議会とボランティア活動について説明できる	配布資料		予習・復習を行い、疑問点などを調べて授業に臨む
		各コマにおける授業予定	社会福祉協議会とボランティア活動			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域活動とボランティアについて説明できる	配布資料		予習・復習を行い、疑問点などを調べて授業に臨む
		各コマにおける授業予定	地域活動とボランティア			

